

学級活動学習指導案

指導者 三原市立第五中学校 坂本 光基
平盛 拓人

- 1 日 時 平成28年9月26日(月) 第4校時(11:45～12:35)
- 2 学年・組 第2学年2組 32名(男子14名, 女子18名)
- 3 場 所 第2学年2組教室
- 4 題材名 あいさつのレベル

【考え・基礎知識】

あいさつの意義, あいさつの有無や質が相手にどのような印象を与えるかを理解し, 言語化することができる。

【つながり】

あいさつの意義, 相手への影響の理解をベースとして, よりよいあいさつのための行動目標を決定し, 実践することができる。

【応用・ひろがり】

様々な集団・状況の中で, 望ましい人間関係を確立するために必要なことを考え, 実践することができる。

5 題材について

(1) 題材観

本題材は, 学習指導要領特別活動〔学級活動〕の内容(2)「適応と成長及び健康安全」のキ「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」に係るものである。特にあいさつは〔学級活動〕の目標である「学級活動を通して, 望ましい人間関係を形成し, 集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し, 諸問題を解決しようとする自主的, 実践的な態度や健全な生活態度を育てる」ことに係る中心的な題材である。

職場体験学習・運動会での達成感から自信を付け, 文化祭への取組が始まるこの時期に, 集団生活の基礎であるあいさつに関する課題の解決に向けた活動を仕組むことは, これから第2学年が学校の中心として成長するために大きな意義があると考えられる。

学習指導要領特別活動「指導計画の作成と内容の取扱い」2の(1)には, 「よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動」の充実も示されており, 自分たちの実態から共有した課題の解決に向けて, 小グループ・学級での話し合い活動の充実を図りたい。

(2) 生徒観

本学級では, 8月下旬の職場体験後の感想で「あいさつの大切さを学んだ」と多くの生徒が書いており, 社会に出ると一層あいさつが大切になることは理解している。本校では生徒会・学校を挙げてあいさつ運動に取り組み, 段階に応じて「レベル1～5」を設定しているが, 「まずは自分からあいさつするレベル3を」という本校統一の方針に対して, 本学級のレベル3達成率は生徒アンケートでは94%(6月), 87%(9月)であるが, 教職員・担任の観察ではそこまで達しておらず, 十分とは言えない。

また, 本学級は授業において真剣に取り組む姿勢があり, 多くはないが挙手による個人の発表もある。しかし, 授業で話し合い活動を行うときに, 何も枠のないホワイトボードを使うことが多いが, そうすると意見の羅列に終わってしまい, 意見と意見を比較したりまとめたりする様子はほとんど見られない。

(3) 指導観

題材全体を通して, 【考え・基礎知識】→【つながり】→【応用・ひろがり】という流れを具体化するために, 道徳の時間と学級活動の緊密な関連を図っている。道徳の時間を通してあいさつの意義について理解させ, 学級活動での話し合い活動を経て個人の今後の行動につなげる。今回の学習以降にも, 社会に出て通用するように, 学級実態に応じて長期的に学んだことを応用し, 広げていく。

指導に当たっては, 本学級の実態から二つの手立てを行う。一つ目は, 学級の課題であるという意識を共有させるために, 導入でアンケート結果を紹介する。学級委員から紹介させて, そこから課題を学級で共有化する。二つ目は, 課題の原因を分析するに当たって, 小グループでの話し合い活動を取り入れる。また, 話し合い

の方向性が視覚的にイメージできるように、シンキングツール(クラゲチャート)を用いる。小グループ内で出された意見を比較検討してまとめさせ、原因の分析に向けて話し合う支援とする。

6 題材の目標 あいさつの意義を理解し、学級・学校での自らのあいさつの課題を見付け、その原因を踏まえて行動目標を決め、実現に向けて取り組もうとする意欲・態度を育成する。

7 言語活動の充実に向けて

- (1)シンキングツール(クラゲチャート)を用いて、課題の原因を小グループ内で具体的に出し合う。
- (2)学級の他の生徒の意見を聞いて、自分の考えを深め、新たな考えに気付く。

8 題材の評価規準

観点	ア 集団生活や生活への 関心・意欲・態度	イ 集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	ウ 集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	①学級や学校における自らの生活に関心をもち、積極的に自らの生活の充実に取り組もうとしている。	①日常生活における自らの課題を見付け、原因を分析し、解決に向けて思考、判断し、実践しようとしている。	①あいさつの意義や、よりよい人間関係を築くためにあいさつが必要だということを理解している。 ②学級での話し合い活動の仕方について理解している。

9 指導の過程

位置付け	活動の場	主な学習活動	評価規準 (評価方法)
事前1	短学活 休憩時間等	【生徒が共通して解決すべき課題を設定する】 ・短学活であいさつに関するアンケートを実施し、学級の実態を把握する。 ・休憩時間等に学級委員を招集し、学級活動の流れや役割を検討する。	ア① (観察) (アンケート)
事前2	道徳の時間	【資料を用いてあいさつの意義の理解を深め、自らあいさつをしようという実践意欲と態度を育成する】 ・資料「おはようございます」を用いて、あいさつの意義について考える。 ・家庭、学校、学級での生活におけるあいさつを振り返り、意見を交流する。	ア① ウ① (観察) (ワークシート)
事前3	短学活	【本時の予告】 ・短学活で本時の予告をするとともに、私たちの道徳の資料を教室内に掲示し、意欲付けを行う。	ア① (観察)
本時	学級活動	【学級で共有した課題の解決に向けた話し合い活動を通して、個人の行動目標を決定する】 ・学級全体で課題を共有する。 ・話し合い活動を通して、集団及び個人の思考を深める。 ・個人目標を決める	ア① イ① ウ② (観察) (ワークシート)
事後	学級活動	【行動目標の実践・評価・振り返りを行う】 ・決定した行動目標を実践するとともに、定期的に評価・振り返りを行う。	ア① (観察) (自己評価票)

10 本時の展開

(1)本時のめあて 行動目標を決めて、あいさつのレベルを上げよう。

(学級で共有した課題の原因分析の話合い活動を通して、それを解決する個人の行動目標を決定し、実現に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成する。)

(2)準備物 クラゲチャート(グループ用)、ペン、付箋、アンケート結果、あいさつポイント一覧、短冊

(3)学習の流れ(1時間目/全1時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ。 道徳の時間に考えた「相手にどのような印象を与えるか」について、生徒出演ビデオを観ながら確認する。</p> <p>アンケート結果・生徒出演ビデオをもとに問題を焦点化し、課題意識をもつ。</p>	<p>◆あいさつのレベルごとのポイントを視覚的に示す。</p> <p>◇アンケート結果を踏まえ、学級委員から学級の現状を報告させ、課題を学級全体で共有させる。</p> <p>【アンケート結果紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のあいさつはどのレベルか レベル①～⑤の比率をグラフ化 ・自分にとって難しいポイントはどれか。 LV①ポイント 相手に聞こえる声で LV②ポイント 相手を見て LV③ポイント 自分から LV④ポイント 立ち止まって(来客・先生・先輩が対象) LV⑤ポイント 笑顔で 	
<p>課題 あいさつのポイントは分かっているけど、実行できない。 どうすればできるようになるだろうか。</p>		
<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて 行動目標を決めて、あいさつのレベルを上げよう。</p>		
<p>——言語活動の充実——</p>		
<p>3 課題の分析</p> <p>小グループや学級全体で話し合うことを通して、あいさつのポイントを理解しながらできない原因を考える。</p>	<p>【共感的人間関係を育成する】</p> <p>◇小グループごとに、あいさつのポイント①②③④⑤から一つ選び、それができない原因を考える。</p> <p>◇シンキングツール(クラゲチャート)を用いる。 個人で付箋に書き、小グループで大きな用紙(クラゲチャート)に貼る。黒板に掲示し、代表が発表する。</p> <p>◇原因や様々な解決方法を出し合い、比べ合う中で、多様な視点をもたせる。</p> <p>◆個人の意見が考えられない生徒には、「どんな気持ちが邪魔しているか」という発問に置き換えて支援する。</p> <p>【予想される原因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしい。 ・習慣付いていなくて、毎日ずるずると。 ・待っていれば相手からあいさつしてくる。 ・できればたくない。 	<p>・学級での話合い活動の仕方について理解している。〔集団活動や生活についての知識・理解〕(観察)</p>

<p>4 個人の行動目標を決める。</p> <p>話し合い活動を通して考えた課題の原因に負けないように、具体的な個人の行動目標を決め、短冊に書く。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>個人の行動目標を実践しようという思いや本時の感想等をワークシートに書く。</p>	<p>【自己決定の場を与える】</p> <p>◇自分の現状から一步上をいくレベルを目指す。目指すレベルとその実現に向けての行動目標を書く。(どんなことを意識して、どんなあいさつを達成するか)</p> <p>◆高すぎる目標や、評価しにくい目標を設定をしている生徒には、実現可能か、評価しやすいかどうか声をかけをしながら、評価しやすく、成果を実感しやすい行動目標に再設定させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における自らの課題を見付け、原因を分析し、解決に向けて思考、判断し、実践しようとしている。〔集団や社会の一員としての思考・判断・実践〕(観察・ワークシート) ・学級や学校における自らの生活に関心を持ち、積極的に自らの生活の充実に取り組もうとしている。〔集団生活や生活への関心・意欲・態度〕(観察)
<p>生徒のまとめ例</p> <p>自分だけでなく学級のみんなもあいさつに課題があると分かった。あいさつは人の後にするよりも自分から先にする方が印象がいいから、気持ちのよいあいさつをしたい。仲のよい友だち以外に自分からあいさつするのは恥ずかしいけど、そんな気持ちに負けずレベルの高いあいさつをしていこうと思う。</p>		
<p>6 本時を振り返り、今後の生活につなげる。</p>	<p>【自己存在感を与える】</p> <p>◇お互いの行動目標や本時の活動を通して気付いたこと等を小グループ及び学級の中で交流させる。</p> <p>◇今後、短学活で継続して評価・振り返りを行わせる。</p>	

(4) 板書計画

